

ふくし

題字 / 日原会友 井野ゆかり氏



11月5日(日)今年もつながりをテーマに、わくわくフェスタイベントをいきいき広場一帯で開催しました。たくさんの方に参加していただき、天候にも恵まれた大盛況の1日となりました。これを機に、「つながり」や「ふくし」について、今まで以上に意識をして頂けると幸いです。(詳しくは、P2～P5にて)

11月5日(日)
第8回

高浜市

わくわくフェスティバル開催報告

もっとつながれ“話・輪・和”～つながりの輪は∞(無限大)～

参加者・地域が一つにつながったイベントを紹介

話

“きずな づくりで ききに備えよう！”

毎年、「防災」をテーマとした企画を実施しています。

今年は「備えあれば憂いなし」。災害が起こる“前”に何を準備しておけばよいか、ゲームや体験を通して考えてもらいました。

4回実施した防災ビンゴは毎回超満員☆家族やお友達と一緒に、災害時自分にとって何が必要となるかを考えてもらい、ビンゴを開催。1位には特別賞も戸しかし意外と、自分が考えたものは読み上げられず、違う物ばかりが出てヤキモキ…大盛り上がりでした！

また必要なものをカバンに詰めてみると、どれくらいの重さになるかな？ということで、3種類のカバンを用意。実際に持ってみるとその重さにビックリ！本当に必要なものは何なのかをよく考え、備えることの必要性を感じてもらえたと思います。

釣りゲームでは、お題を読んでそれに合う物の絵カードを釣ってもらい、その使い方を考えてもらいました。例えば新聞紙は、体に巻くと温かく防寒でき、折ってスリッパやお皿、コップを作ることもできる。普段とは違う使い方を知ってもらう機会になりました。

最後に、家族や友達など、自分の大切な人が必要とするものを考えてもらい、メッセージツリーにしてもらいました。

「防災」と聞くと少し難しいイメージがありますが、企画を通して分かり易く、より身近に考えてもらう機会になったと思います！



輪

たかはまオリジナルボッチャ大会

「いつでも どこでも だれでも」楽しめるボッチャを通して、つながりの輪をつくることを目的に企画をすすめてきました。

午前中に行った体験コーナーは、公式ボッチャとたかはまオリジナルボッチャの2種類のコートを経験していたが、総勢150名の参加がありました。そのうち小学生は57名でした。小学校のお友達同士や高齢の方、障がいをお持ちの方と親子連れなど、初めて会う人同士でもすぐに一緒にプレイできるので、体験した皆さんはとても楽しまれていました。

午後の部では、特別講師として、あいちボッチャ協会副会長の荒賀博志先生と、ロンドンパラリンピックボッチャ日本代表の加藤啓太選手を招いて実力アップ講座を開催しました。

講座では荒賀先生、加藤選手による模範演技や、参加者に投げ方のレクチャーを行いました。参加者と加藤選手との対戦では、加藤選手からパラリンピック日本代表選手ならではのスーパープレーが飛び出し、会場が一機に湧きたちました。

終了後、荒賀先生や加藤選手の周りには、参加者が集まり、会話や握手を交わすなど、新たな交流も広がりました。

年齢、性別、障がいに関係なく「いつでも どこでも だれでも」楽しめるボッチャ。このわくわくフェスティバルで多くの方とつながりの輪を作ることができました。



和

「わくわくカフェ・レストラン」



「わくわくカフェ・レストラン」満員御礼!!

して下さいました。また、今年の「わくわくカフェ・レストラン」では、ランチだけでなく、コーヒーとドルチェの販売もあり、いきいきホールは開店から閉店まで、常に来場者で賑わっていました。

当日 人気メニュー

- ・豚汁
- ・ムネ肉のオイマヨ和え
- ・さんまのかば焼き
(当日アンケートより)

「わくわくカフェ・レストラン」は、今回で5回目のオープンを迎えることができました。今年も、高浜高校生や子どもからベテラン主婦が、ワンデイ（1日）シェフとなるために、当日に向けてたくさんの準備を

■「わくわくカフェ・レストラン」から広がる「輪」!!

当日は、シェフさん同士が料理づくりを通して、和気あいあいと会話をしながら、つながりを作っていました。そのつながりを作る陰には、シェフの皆さんが動きやすいように準備をしてくださった、実行委員（神谷裕子さん）の存在がありました。



お客様の
声

- ・なごやかに過ごせ、笑いが絶えませんでした。
- ・とてもおいしかったです。
- ・みんなとワイワイ楽しく料理をする機会があれば参加してみたい。

次は、あなたも一緒にシェフとして参加してみませんか？



つながるチャラポコ

今年も、ご来場の皆さん、出展者の皆さん、ボランティアの皆さんのつながりを深めることを目的に「つながるチャラポコ」を企画しました。

はじめのうちは遠巻きに見ていた方も、踊っている方々に誘われてチャラポコの輪に入りました。当日は天候に恵まれたこともあり、子どもから大人まで200名を超える方々に参加していただきました。

地域や職場等で練習したチャラポコを披露する方々と、「チャラポコって何？」というフレッシュな方々が一緒にチャラポコを楽しみました。わくわくフェスティバルへ何度も来て下さっている方も、今年初めて来て下さった方も、司会ボランティアの高浜高校生も、ひとつの輪になり、つながりの輪を作ることができました。

たくさんのご参加、ありがとうございました。





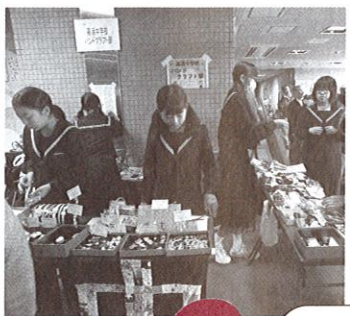
「高浜市PR愛どるユニットさくらと凜華」が、わくわくフェスティバルに初登場しました。

今年も、春日町町内会長の開会宣言とともにクラッカーの音で始まりました。



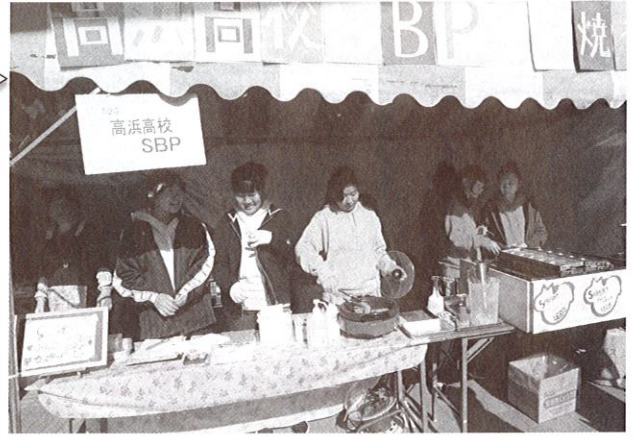
高浜高校生による司会進行♪ 寒い中、明るい笑顔でがんばって下さいました。

物販のブースでは、自分たちの手作り品等を来場者に直接PRしながら販売しました。来場者と出展者が会話をすることで、つながりの輪が広がるきっかけとなります。



高浜高校SBPの皆さんが、初出展して下さいました。

点字、手話、回想法など、だれもが「ふだんのくらしをしあわせ」にすこす為の取り組みを楽しく、わかりやすく伝えるために様々な工夫をこらした出展が目立ちました。



“つながり”を広げるきっかけを一緒につくりませんか？

(平成30年度わくわくフェスティバル実行委員の募集)
わくわくフェスティバルは、市民、市内団体を中心とした実行委員会が企画運営を行っています。今年も4月から打ち合わせを行い、つながりをテーマに様々な企画を考え、実施することができました。そこで、平成30年度わくわくフェスティバル実行委員を募集します。

- 役割……企画、運営、広報に関すること
- 活動……実行委員会への出席(8回程度)と、当日までの準備運営活動
- 応募要件…「高浜の地域福祉を良くしたい」という気持ちのある方なら、どなたでも参加していただけます

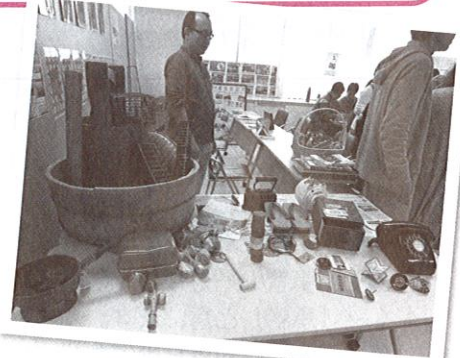
【申込み・問合せ先】高浜市わくわくフェスティバル実行委員会事務局
電話52-2002(社協事務局)
期間/平成29年12月1日(金)~平成30年2月28日(水)

つながりの輪 フォトギャラリー



今年も、中学生～大学生、主婦の方や健康マイレージに登録している方など、幅広い年齢層の約230名がボランティアとして参加して下さいました。また、市内の市民グループ、ボランティアグループ、福祉施設等を中心に多くの団体が参加して下さいました。

わくわくフェスティバルは、このような地域とのつながりで成り立っています。



Akaihanekyōdōbokin undō

赤い羽根共同募金運動



赤い羽根作品コンクール表彰式

今年も各小中学校から作品を募集し、2,640点の応募の中から、14名の子どもたちが優秀賞を受賞しました。



赤い羽根チャリティーバザー

(株)豊田自動織機様や、市民の皆さまご提供の生活用品で行ったバザーは、今年も大人気でした。売上は、赤い羽根共同募金に募金し、来年度の地域福祉の推進に役立てられます。



みんなで権利擁護を考えよう!

～消費者被害と権利擁護～

高齢者の消費者被害は、訪問販売や電話勧誘など、儲け話によるトラブルを中心に、年々増加しており、高齢者の体力や判断力の衰えに起因するトラブルも生じています。

高齢者の被害は、近くに相談する人がいなかったり、相談をためらう高齢者特有の心理などのために潜在化しやすく、また高齢者自身が被害にあっているという自覚がない場合もあり、相談によって発見されることが難しくなっています。

しかし、高齢者の家族や友人、近隣住民、また民生委員やヘルパー、ケアマネジャーなどからの相談や問い合わせで被害が発見されることがあります。高齢者を被害から守る方法のひとつとして、普段から相談できる人を作っておくことや、周りの方々が異変に気づき、被害を未然に防ぐことができる環境を作ることが大切です。

～契約の基礎知識～

契約とは？

- 契約とは、「当事者間の合意（約束）であって、当事者間に法律関係（権利義務の関係）を生じさせるもの」を言います。この合意は、法の保護を受けるのにふさわしい内容のものでなければなりません。
- 適正に結ばれた契約は守らなければなりませんし、契約通り実現するように強制できる約束です。

契約の成立は？

- 当事者の一方から先になされる意思表示を「申込み」、これを受けて他方から後でなされる意思表示を「承諾」と言います。通常は、この「申込み」と「承諾」との合致によって契約は成立します。
- 契約は口約束だけでも成立します。
- 契約書は、当事者双方の意思の合致を明確にするために、また、後で発生するトラブルを防ぐために交わすものです。

最近の傾向と対策

- 2016年度における国民生活センターへの相談内容として、「健康食品の定期購入」や「インターネット通信関連サービスの契約」などが増加傾向にありました。また被害者層は50歳代～70歳代が全体の半数を占めています。（独立行政法人国民生活センター参照）
契約を解除する方法として、以下の制度等があげられます。

◆ クーリングオフ制度 ◆

訪問販売などの不意打ち的な取引にかかる契約や複雑でリスクが高い取引にかかる契約では、定められた一定期間であれば無条件で、一方的に契約を解除できる制度です。

取引の種別	期間
訪問販売（キャッチセールス、アポイントセールス等を含む）	8日間
電話勧誘販売	8日間
特定継続的役務提供（エステ、パソコンなど）	8日間
連鎖販売取引（マルチ商法）	20日間
業務提供誘引販売取引（内職商法、モニター商法等）	20日間
訪問購入（業者が各戸訪問により、商品の買取りを行うもの）	8日間

（愛知県警察HP参照）

◆ 電気通信事業法 ◆

携帯電話サービス、インターネットサービスなどの新たな消費者保護ルール

- ・ **書面の交付義務**
電気通信事業者に対し、契約締結後に書面を作成し交付することが義務付けられました。
- ・ **初期契約解除制度**
上記書面の受領日を初日とする8日間が経過するまでに、利用者の都合により、契約の解除をすることが可能となりました。

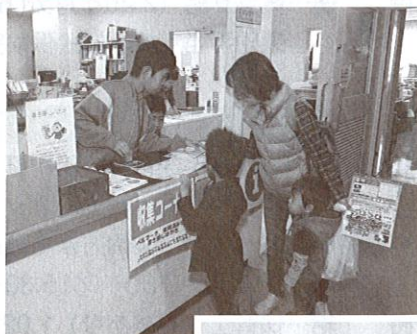
（総務省HP参照）

ボランティアひろばセンター てとてとて



収集ボランティアへのご協力ありがとうございました!

わくわくフェスティバルにご来場いただいた皆さまより、今年もたくさんのご協力をいただきました。誠にありがとうございました！
使用済み切手の一部は、ボランティアさんの手で1枚1枚台紙からはがし、市内の宅老所利用者さんの切手アートに使用させていただきます。その他の切手やベルマーク、書損じはがきは、下記の送付先に寄付いたします。



【送付先】

ベルマーク 市内小中学校へ

使用済み切手・書損じはがき 当センターから愛知県社会福祉協議会へ寄付し、その後、中部盲導犬協会、日本介助犬協会のほか、海外支援、植林活動、難病の子どもたちの支援をする団体等へ送ります。

昨年寄付いただいた使用済み切手は、宅老所利用者さんの作品になりました。



収集 ボランティア 回収数		
	ベルマーク	438枚
	使用済み切手	3,394枚
	書き損じハガキ	117枚

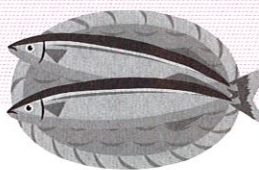
わくわくフェスティバルにご協力頂きましたたくさんのボランティアの皆さま、誠にありがとうございました！

高浜市社会福祉協議会 ボランティアひろばセンターてとてとて

電話：52-9882 FAX：52-4100 メール：tetotetote@takahama-shakyo.or.jp

宅老所
今日の献立
vol.25

さんまのかば焼き



今回のレシピは...
わくわくカフェレストラン
の人気メニューから
です。

《材料》（4人分）

- ・さんま4尾 ・片栗粉 ・小麦粉 ※片栗粉と小麦粉は1：1の分量
- ・たれ（しょうゆ、みりん、砂糖 各大さじ1）

《作り方》

- ① さんまを3枚におろし、食べやすい大きさに切る。
- ② さんまに片栗粉と小麦粉を混ぜたものをまぶす。
- ③ フライパンに多めの油をひき、さんまを焼く。焼けたさんまは器に取り出しておく。
- ④ フライパンを綺麗にし、たれ用の調味料を混ぜ合わせてフライパンに入れ火にかける。
- ⑤ その中に③を入れ、たれをからめる。



臨時職員募集

平成30年4月～

○保育士○

勤務地…高浜南部保育園（田戸町3-5-26）
中央保育園（稗田町2-3-7）
勤務時間…フルタイム（月～土の内5日 7:30～19:00の間で7時間45分）
月給…172,400円（4年目より昇給有）
待遇…賞与支給（2.20ヶ月分（6月賞与は勤務期間に応じて割り引かれます））
通勤手当支給、社会保険完備、福利厚生完備（誕生日クオカード支給、書籍助成等）

○保育士または保育補助○

勤務地…高浜南部保育園（田戸町3-5-26）
中央保育園（稗田町2-3-7）
勤務時間…月～金（①②両方またはどちらかでも可）
①7:30～9:30 ②15:30～19:00
時給…保育士（資格あり）1,020円（4年目より昇給有）
保育補助（資格なし）920円



★一時保育のご案内★

仕事が入って一時的に子供を預けたい、冠婚葬祭がある、ゆっくり美容院に行きたい…お仕事やお父さんお母さんのリフレッシュに、ぜひ役立ててください！！

実施園：高浜南部保育園（田戸町3-5-26）
保育時間：月～土（祝日、年末年始を除く）
原則 8:00～16:00（必要に応じて20:00まで）
対象児童：生後6ヶ月～就学前
保育日数：14日以内/月



年齢	1日	半日 (4時間以内の場合)	延長 (午後6時以降必要)
0・1・2歳児	3,600円	1,800円	1,300円
3歳児	1,700円	850円	600円
4・5歳児	1,500円	750円	500円

善意をありがとうございました

おやつの会、加藤芳博、コカ・コーライーストジャパン(株)、栗原一幸、
清水昭吉、高浜市いきいきクラブ連合会、竹内かすみ、樋田好子、
(株)豊田自動織機、永柳和枝、深谷宏治（敬称略）

年末年始の休み
12月29日(金)
～1月3日(水)



広報紙「ふくし」
は財源の一部に赤い羽根共同募金配分金を受けて発行しています。



編集
発行

社会福祉法人 高浜市社会福祉協議会

〒444-1334 愛知県高浜市春日町五丁目165番地
TEL : 0566-52-2002 FAX : 0566-52-4100
E-mail : info@takahama-shakyo.or.jp